

現研 第404回新経営具体化研究会

ドローン社会実装への新たな挑戦

— 空中ドローン、水中ドローン、水上ドローンの最前線の検討 —

■ 講 師 藤川理絵氏
フリーライター・ジャーナリスト

● 日 時 2021年4月21日(水) 15:00~17:00
● 開催方式 ZOOMによるオンライン開催

※ 当研究会は講演形式を基本としながらも、参加者の疑問点や問題提起に応える質疑応答を重視して進めます。

<プログラム>

I. ドローン産業の現在地

- ドローン産業の構造—日本国内市場の規模と予測
- 空中ドローン/水中ドローン/水上ドローンの多様な国内製品群
- ビジネスの実相—社会実装、POC(実証実験)はどこまで進んでいるか

他

II. 社会実装へイノベーションに挑戦する企業群

- ドローン・ジャパン:リモートセンシングによる無農薬有機栽培「ドローン米」
- エバーブルーテクノロジーズ:最新ロボティクスとゼロエミッションが融合した水上ドローン
- ドローンショー:革新的な屋内型エンタテインメントへの挑戦
- FullDepth(フルデプス):筑波大発スタートアップ国産水中ドローンメーカー

他

III. 新産業創造に向けた動き

- 働く現場のワークスタイル転換
- 職業としてのドローン
- 教育メソッドとしてのドローンの機能と価値の発見
- ドローンコミュニティの成立—レース、エンタテインメント、学校、趣味

他

IV. コンサルティングアワー

- 質疑応答

ご参加をお勧めします

今回は、藤川理絵氏を講師にお迎えします。

氏が執筆し昨年末に発刊された「水中ドローンビジネス調査報告書2021 [建設から設備点検、調査、養殖、水難救助まで 水中ロボットが切り拓く新市場]」(インプレス総合研究所)はまだ小さな市場である水中ドローンのもつ多彩な可能性を掘り起こし、専門家の間で反響を呼んでおります。

氏は空中ドローン、水中ドローン、水上ドローンの最前線取材の第一人者であり、ドローンビジネスにクリエイティブに挑戦をしている起業家・経営者との対話を通して、またキャリアコンサルタントとしての独自の視点からドローンの社会実装の未来を語るライターでもあります。

氏を囲んでドローンの社会実装にむけた多様な取り組みとそれぞれの現場での独自のアプローチについてお話をうかがい検討を進めます。

ご参加をお待ちしています。

現研所長 大槻 裕志



藤川理絵/インプレス総合研究所著
『水中ドローンビジネス調査報告書2021』
【建設から設備点検、調査、養殖、水難救助まで 水中ロボットが切り拓く新市場】(新産業調査レポートシリーズ)
(2020年12月 インプレス総合研究所)

■ 講師プロフィール

藤川理絵(ふじかわりえ)氏

フリーライター・ジャーナリスト。2002年新卒でリクルート入社。ライフスタイル系媒体の編集や広告制作、求人系媒体のウェブマーケティングを経て、2015年よりドローン、モビリティ、ロボティクス、スマートシティ、XR、X-TECH、XaaS、働き方改革、キャリアなど幅広く取材・執筆している。『水中ドローンビジネス調査報告書』著者(2020年12月インプレス総合研究所発行)。ドローン専門メディア『ドローンジャーナル』で連載企画「藤川理絵の水中ドローン最前線」を手がけるほか、『Drone.jp』では国家資格キャリアコンサルタントとしてのベースも活かしたインタビューコラム「空150mまでのキャリア〜ロボティクスの先人達に訊く」を連載執筆中。活動のテーマは「テクノロジーによるビジネスと働き方の変容」。趣味はドローン空撮と茶道。Twitter: @fulifuli_sunsun